



ケアプラン新様式記載研修

ケアプラン新様式第1表 記載演習

ケアプランセンターゆいまーる
位頭 薫



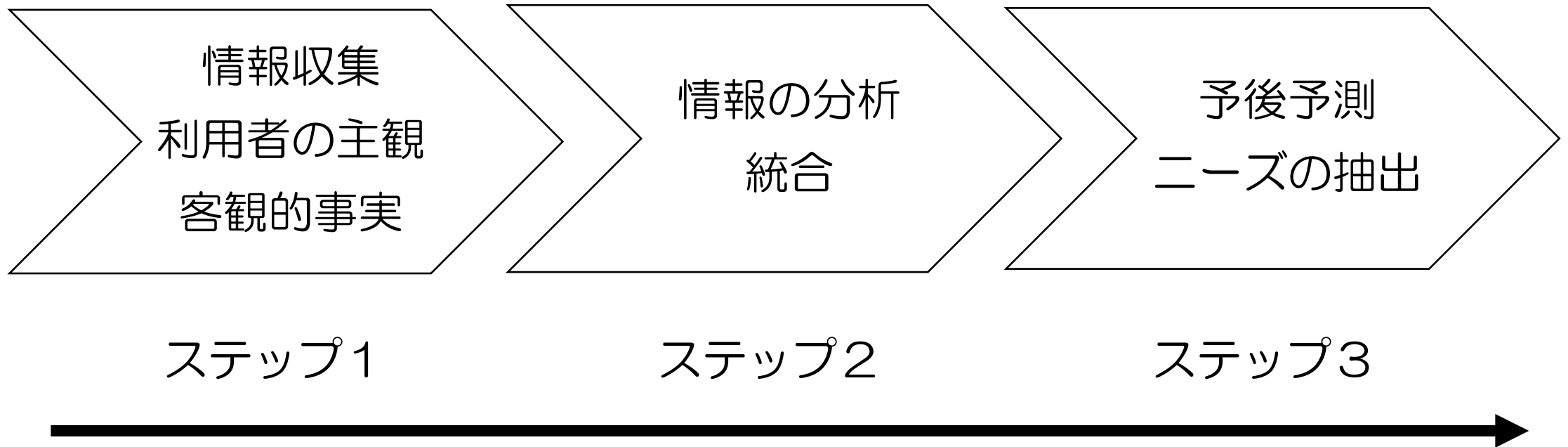
居宅サービス計画書記載要領 前文追加工

なお、介護サービス計画は、利用者の生活を総合的かつ効果的に支援するために重要な計画であり、利用者が地域の中で尊厳ある自立した生活続けるための利用者本人の計画であることを踏まえ、わかりやすく記載するものとする。

「利用者及び家族の生活に対する意向を踏まえた課題分析の結果」 記載要領追加文

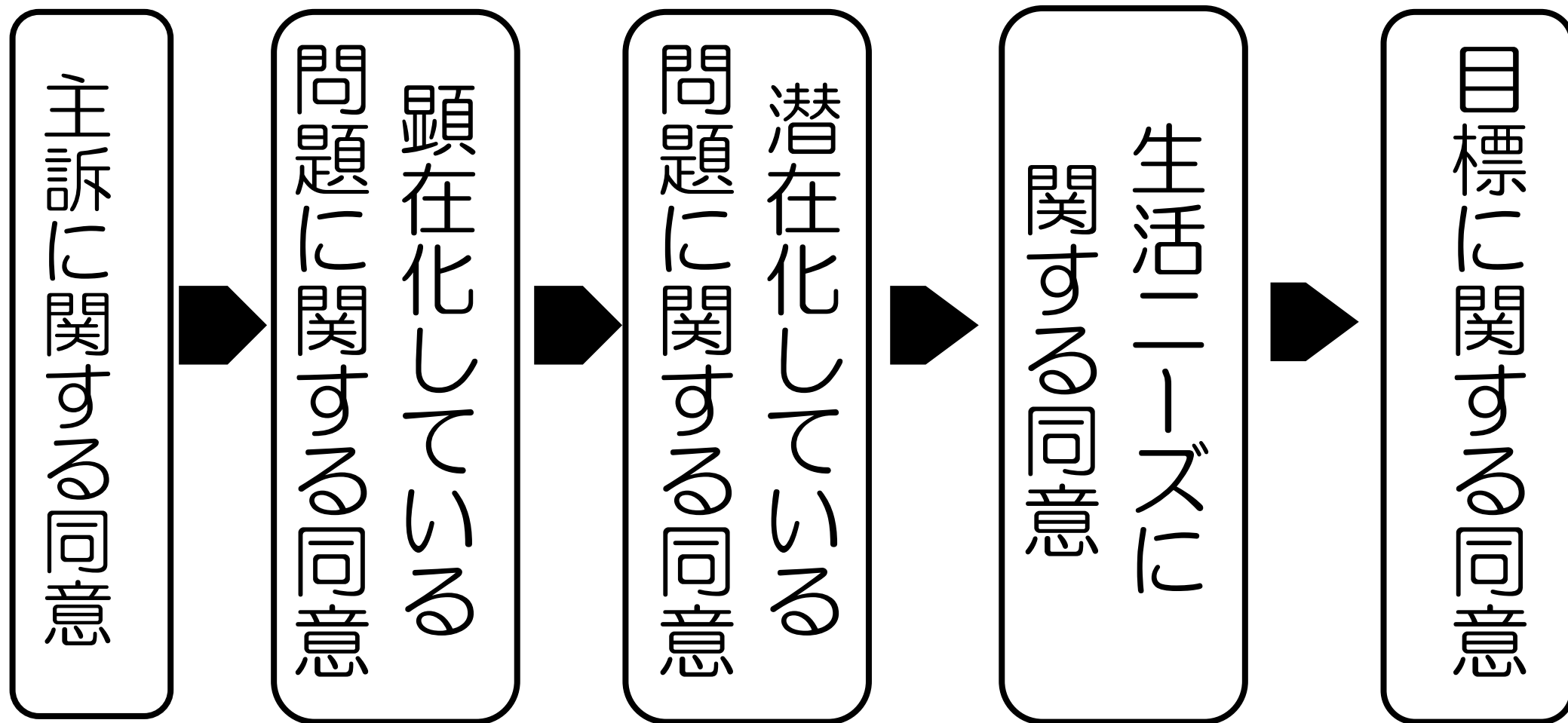
利用者及びその家族が、どのような内容の介護サービスをどの程度の頻度で利用しながら、どのような生活をしたいたいと考えているのか意向を踏まえた課題分析の結果を記載する。その際、課題分析の結果として、「自立支援」に資するために解決しなければならない課題が把握できているか確認する。そのために、利用者の主訴や相談内容を踏まえた利用者が持っている力や生活環境の評価を含め利用者が抱える問題点を明らかにしていくこと。

アセスメントのステップ



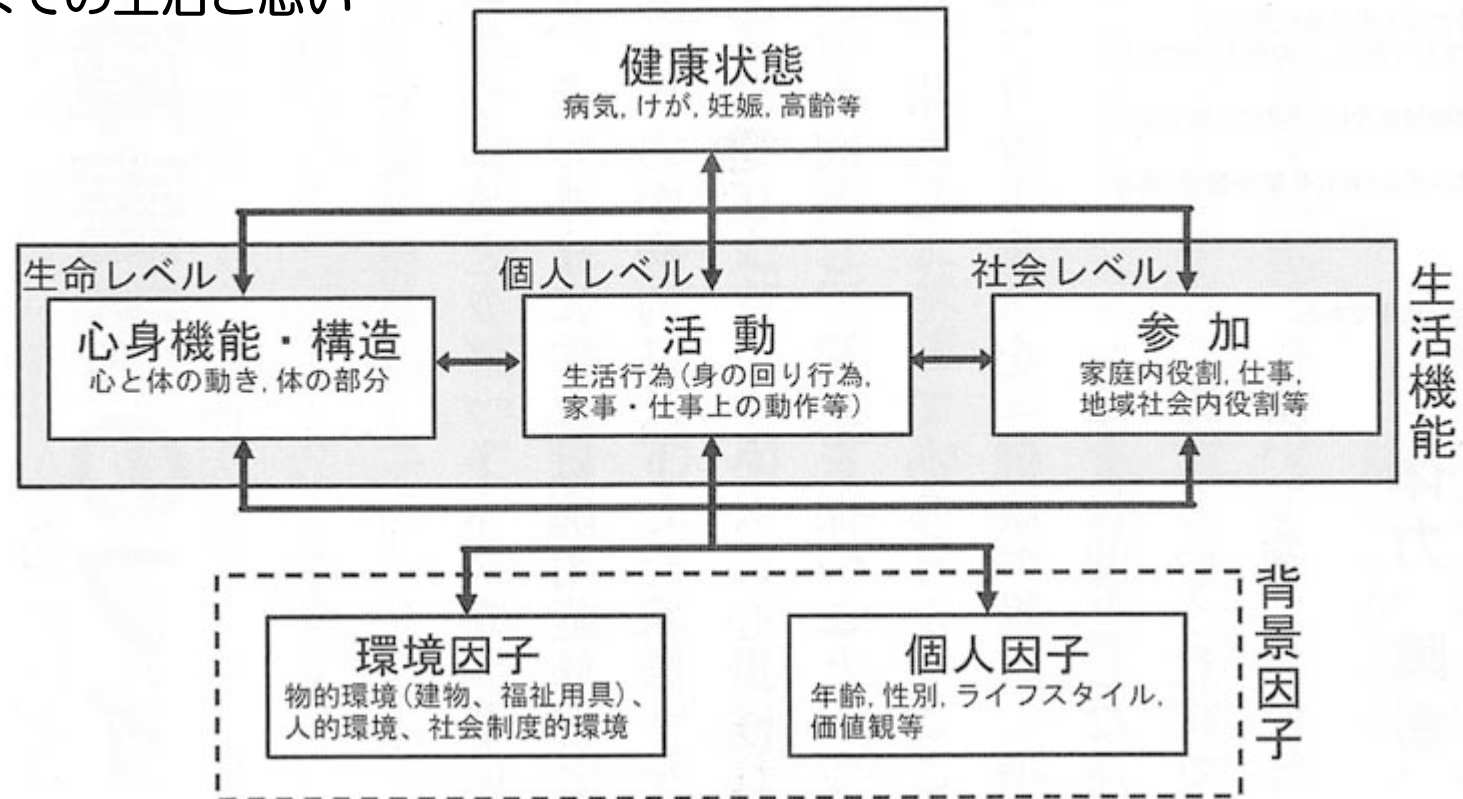
「利用者の望む暮らし」の把握
利用者との信頼関係の構築

アセスメントの過程



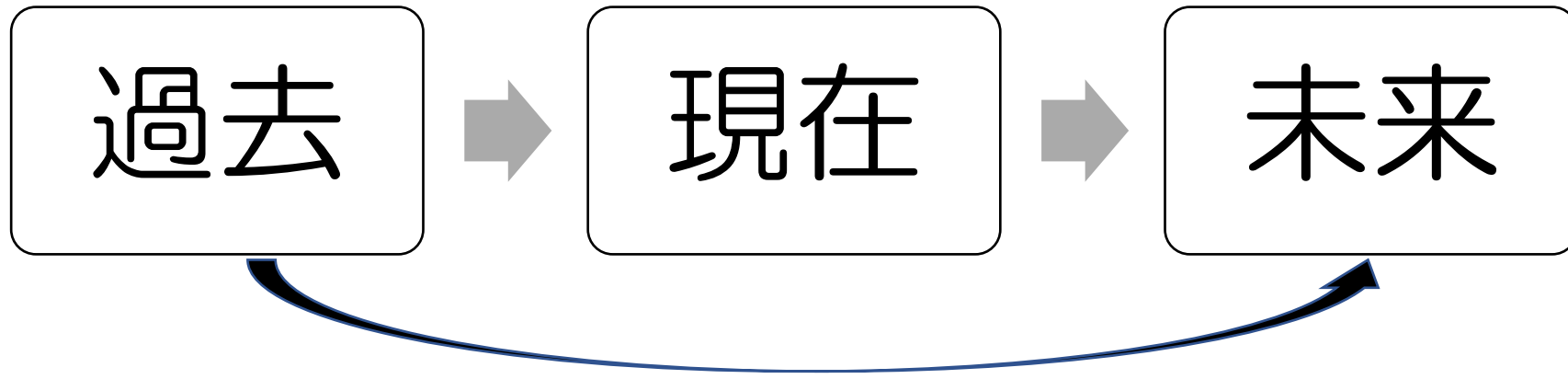
アセスメントの7つの領域

利用者の今までの生活と問い



アセスメントの7つの領域

利用者の今までの生活と思い



問題解決への姿勢
生活のしかた
人生への影響

演習 1 （20分間）

Aさんの事例（事例概要、基本情報、主治医の意見書、チェックポイントシート、ICFシート、課題整理総括表、担当者会議の要点、居宅サービス計画書第2表、第3表）を読み、課題整理総括表の見通し欄、本人及び家族の生活に対する意向欄、生活全般の解決すべき課題欄を記載して下さい。

※面接における会話は、みなさんの想像でイメージして下さい。第2表、第3表は参考にする程度で、そのニーズや目標は全く別のものでかまいません。この事例を個々の感覚で読み解いて下さい。課題整理総括表の意向や課題は、アセスメントの一環なので決定ではなく案です。

「利用者及び家族の生活に対する意向を踏まえた課題分析の結果」 記載要領追加文

利用者及びその家族が、どのような内容の介護サービスをどの程度の頻度で利用しながら、どのような生活をしたいたいと考えているのか意向を踏まえた課題分析の結果を記載する。その際、課題分析の結果として、「自立支援」に資するために解決しなければならぬ課題が把握できているか確認する。そのために、利用者の主訴や相談内容を踏まえた利用者が持っている力や生活環境の評価を含め利用者が抱える問題点を明らかにしていくこと。

「利用者及び家族の生活に対する意向を踏まえた課題分析の結果」 記載ポイント

- 利用者及びその家族の意向を踏まえて目指す生活や状態
- 本人の持つ強み、可能性、意欲
- 目指す生活に向けて起こす行動
- 本人のストレングスを考慮した、実現可能なビジョン

演習2（20分間）

1) Aさんの事例で自分が行ったアセスメントのポイントをまとめて200文字以内に記載してください。（10分）

※講義で説明した記載方法【1】のように担当者会議の要点に課題分析の結果を記載する方法です。チームで共有するため簡潔にポイントを絞って記載してください。

2) グループで発表し合って共有してください（10分）

課題分析の結果

演習3（20分間）

1) アセスメントを経てAさんと共有した「本人及び家族の意向」を記載してください。（10分）

※講義で説明した記載方法【5】のように計画書第1表に記載する方法です。本人にわかる文言で記載して下さい。

2) グループで発表し合って共有してください。（10分）

利用者及び家族の生活に対する意向を踏まえた 課題分析の結果

「総合的な援助の方針」 記載要領追加文

課題分析により抽出された、「生活全般の解決すべき課題（ニーズ）」に対応して、当該居宅サービス計画を作成する介護支援専門員をはじめ各種のサービス担当者が、どのようなチームケアを行おうとするのか、利用者及び家族を含むケアチームが確認、検討の上、総合的な援助の方針を記載する。

「総合的な援助の方針」 記載要領追加文

あらかじめ発生する可能性が高い緊急事態が想定されている場合には、対応機関やその連絡先、また、あらかじめケアチームにおいて、どのような場合を緊急事態と考えているかや、緊急事態を想定した対応の方法等について記載することが望ましい。例えば、利用者の状態が急変した場合の連携等や、将来の予測やその際が多職種との連携を含む対応方法について記載する。

「総合的な援助の方針」記載ポイント

- 利用者及びその家族を含むチームで共有した方針
- 関係機関との連携・連絡方法
- 予測される利用者の急変の状態
- 具体的に想定される緊急事態のケース
- 緊急事態発生時の具体的な他機関との連携方法

演習4（20分間）

1) アセスメントを経て本人及び家族の意向を基に、ケアチーム全体で行う総合的な援助の方針について記載してください。（10分）

※援助の方針に加えて、緊急事態の状況とその対応方法についても記載してください。

2) グループで発表し合って共有してください。（10分）

利用者及び家族の生活に対する意向を踏まえた 課題分析の結果

参考文献

中央法規出版

「アセスメント 情報収集からケアプラン作成まで」

著) 白木 裕子

「ケアマネ実務スタートブック」

著) 高室 成幸

「思考プロセスがわかる！自立支援型 ケアプラン事例集」

著) 中野 穰

「ケアマネジャースキルアップ読本」

著) 吉田 光子

「ケアマネジャー」

阿部 充宏





遅くまでありがとうございました